

# 平成17年度 八戸市公共事業再評価シート

17-

評価対象事務事業名	館鼻公園整備事業	担当部署(電話)
		都市開発部公園緑地課公園整備グループ (内線520)

再評価実施要件	<input checked="" type="checkbox"/> 事業採択後	<input type="checkbox"/> 5年経過	<input type="checkbox"/> 未着工	(その他)	再評価実施要綱第3条第1項第2号該当
	<input type="checkbox"/> 再評価実施後	<input checked="" type="checkbox"/> 10年経過	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中		

## 1 事業の概要

総合計画の 施策の体系	施策コード	大施策	第2章 潤いと安らぎに満ちた生活環境づくり	満足度順位	重要度順位	要求度ランク
				2010301	中施策	01 快適な生活環境の整備
		小施策	03 都市緑化の推進	23位 /38	19位 /38	C
		基本事務事業	01 身近な公園・緑地の整備	11位 /55	22位 /55	C

事業方法	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助事業
	<input type="checkbox"/> 県補助事業
	<input type="checkbox"/> 市単独事業
財源負担	<input checked="" type="checkbox"/> 国 50 %
	<input type="checkbox"/> 県 %
	<input checked="" type="checkbox"/> 市 50 %

採択年度	平成 8年度	(用地着手 平成 8年度)	(工事着手 平成13年度)
終了年度	平成20年度	平成16年 3月工期変更	(変更前の終了年度 平成15年度)

目的	当該公園は、湊村との合併により市に引き継がれた面積5,700m <sup>2</sup> の土地に、児童福祉法の適用を受けて主に児童の利用を目的としてS39年に開設され、地域住民の憩いの場として長い間利用されてきた公園である。その一方で八戸港が一望できる見晴らしの良さから、「海が見える丘の公園」として多くの人々から知られるところとなり、近年において益々利用者が増えている状況である。しかし、経年による老朽化に加え、大型バスなどの駐車場スペースや、東西に広がる眺望を活かした施設の設置などの課題もあり、再整備を機に面積を約2倍の13,000m <sup>2</sup> に広げ、観光地としての利用をも視野に入れた「みなと八戸」のシンボルともなる公園として、施設の充実を図るものである。	内容	施設の内容		ha	
			ゾーン名	主な施設	計画面積	供用面積
			日和山広場	駐車場、記念碑、トイレ	0.32	0.27
			桜の杜広場	展望台、四阿、ベンチ	0.45	0.3
			たてはなの丘	漁夫のとりで、月見のデッキ	0.15	0.15
			夕日のテラス	3連パーゴラ、縁台	0.06	0.04
			西のスポット	シェルター、ベンチ	0.05	0.04
			南のスポット	シェルター、ベンチ	0.02	0.02
			プレイロット	パーゴラ、遊戯施設(滑り台他7基)	0.06	0.06
			上の自由広場	ベンチ、広場	0.13	0.13
			下の自由広場	ベンチ、軽運動器具(7基)	0.06	0.06
			計		1.3	1.07

事業費	○ 当初計画時総事業費 703 百万円		○ 再評価時総事業費 639 百万円		(単位:百万円)			
		~14年度	15年度	16年度	17年度	小計	18年度~	合計
	計画 (うち用地費)	278 ( 185 )	60 ( 6 )	76 ( 15 )	79 ( 17 )	① 493 ② ( 223 )	146 ( 0 )	639 ( 223 )
	【 16年 3月変更】 実績 (うち用地及び補償費)	278 ( 185 )	60 ( 6 )	76 ( 15 )	60 ( 17 )	③ 474 ④ ( 223 )	165 ( 0 )	⑤ 639 ⑥ ( 223 )

## 2 評価

(1) 事業の進捗に関する視点	A
-----------------	---

進捗状況	計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合 (うち用地及び補償費)	74.18 % 【③/⑤】 ( 100.00 %) 【④/⑥】

《説明》  
平成20年度の完成に向けて事業は計画通りに進んでおり、展望塔、エントラス部の駐車場等の整備を残すのみとなっている。展望塔は今年度の実施設設計委託を行い、平成18年度に施工を予定している。

(2) 事業の必要性等に関する視点 A

**必要性**

○施設の老朽化に伴い、地元町内会や周辺地区住民から改修について強く要望されている。  
 ○平成16年3月に策定の「八戸市都市計画マスタープラン」では、都市拠点となる陸奥湊駅周辺の市場を巡る散策ルートの一つとなっており、海の見える優れた眺望点を活かした公園づくりを進めるものとされている。  
 ○当市の一人当たり公園面積は、平成15年度末時点で8.81m<sup>2</sup>と県内旧8市の平均13.19m<sup>2</sup>と比較し低い水準であることや、「八戸市緑の基本計画」が平成35年度を目標とする一人当たり公園面積16.0m<sup>2</sup>の実現においても、当公園の開設面積の増進は必要不可欠である。

**市民等の声**

○湊地区まちづくり懇談会から「公園からのすばらしい眺め」や、「港のみえる丘公園として大事にしたい」などの意見が出されている。  
 ○地元町内会関係者で組織された「館鼻公園整備拡充促進期成同盟会」から毎年整備進捗状況について説明を求められており、早期完成について強く要望されている。  
 ○H16年9月決算特別委員会において、大型バスの駐車スペースについて質問があり、利用状況を見ながら適切なスペースを確保すると回答。

(3) 事業の投資効果に関する視点 B

区分		(単位:百万円)		
主な項目		当初計画時	再評価時	増減
費用項目 ◎	① 施設整備費	—	365.0	—
	② 用地費	—	217.0	—
	③ 維持管理費	—	74.0	—
	④	—	—	—
	⑤	—	—	—
総費用		—	656.0	—
便益項目 ◎	① 利用価値	—	1,937.0	—
	② 環境価値	—	1,640.0	—
	③ 防災価値	—	3,414.0	—
	④	—	—	—
	⑤	—	—	—
総便益		—	6,991.0	—
B/C		—	10.66	—

《説明》  
 ▶ 費用対効果分析手法  
 「小規模公園費用対効果分析手法マニュアル」(平成12年12月(社)日本公園緑地協会発行、建設省都市局公園緑地課監修)に基づく  
 ▶ 特記事項  
 ・なお、再評価時のB/Cについては、平成14年度からの義務づけのため、事業採択時には未実施である。

(4) 事業のコスト縮減等に関する視点 A

<b>コスト縮減</b>	○現況の地形や樹木を極力活かした公園づくり。 ○公園施設の使用材料等の見直しによる工事費の縮減 ○土留めなど既存施設の再利用
<b>代替案</b>	老朽化に伴う再整備であり、また、公園の施設内容については、地域住民と話し合いながら進めてきた経緯もあるので、代替案は考えられない。

(5) 市民ニーズの視点 A

**把握方法**  
**内容**

○市民ニーズを反映した公園づくりを目的として、平成12年に地元町内会関係者で組織した「館鼻公園整備拡充促進期成同盟会」によるワークショップが開催されている。  
 ○平成16年3月に「八戸市緑の基本計画」の策定にあたり実施した市民アンケートでは、地域で取り組んで欲しいこととして、「自然散策や憩いの場となる緑地をつくる」が最も多い。

(6) 環境影響への視点 A

**配慮手法**

該当項目数7項目(実施数6項目)  
 × 建築設計段階で新エネルギー、雨水利用システム等の導入  
 ○ 建築設計段階で環境負荷削減(現況地形、樹木の利用)  
 ○ 施設の緑化(公園樹木の植栽) ○ 建設機械、工事車両には低騒音、低振動、低排出ガスの機械を使用(特記仕様書による義務付け) ○ 再生資材を使用(再生AS・砕石の利用) ○ 農薬や化学肥料の使用量削減(必要最小限の使用)  
 ○ 廃棄物の分別処分(AS、コンクリート殻のリサイクル工場への搬出)

3 対応方針(案)

<b>総合評価</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
<b>理由</b>	○当公園は、地域住民が利用する公園としてだけでなく、海の望める優れた地形特性を活かした「みなと八戸」のシンボルとしての役割も担っている。今後は陸奥湊駅周辺を巡る観光客が回遊する公園としても、さらなる施設の充実が必要であるため事業継続としたい。		

4 行政経営検討委員会意見

<b>総合評価</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
<b>付帯意見</b>	「社会教育」「観光」「地域連携」のどれかに目的を定めて、広報・PRの方法及び維持管理・活用のあり方等を検討すること。		
<b>理由</b>			

5 対応方針(決定)

<b>総合評価</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 中止
<b>理由</b>	事業完了に向け整備を進めるとともに、委員会の意見を踏まえて、身近な公園としての地域住民の関わりや、優れた眺望点としての当公園の利活用、また、PR等について、市民の声も参考にしながら充分検討を行っていく。		